

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月17日
事業名	女性特有のがん検診等推進事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	15
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成21年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	乳がん・子宮がん（平成24年度から大腸がんを含む）の働き盛りの世代の受診率の向上				
対象 (誰を・何を)	節目年齢の対象者				
内容	乳がん（40歳、45歳、50歳、55歳、60歳） 子宮がん（20歳、25歳、30歳、35歳、40歳） 大腸がん（40歳、45歳、50歳、55歳、60歳） の対象者にごがん検診手帳、無料クーポン券、案内等を郵送し自己負担金を免除する				
根拠法令・条例等	健康増進法、がん対策基本法、がん対策推進基本計画				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	4,458	4,265	10,681
	国庫支出金	千円	2,373	3,302	2,140
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,085	963	8,541
	職員人数 (概算職員数)	人			0.40
	人件費計 (b)	千円			2,451
総事業費 (a)+(b)	千円	4,458	4,265	13,132	
事業費内訳 H 25 年度	クーポン券等印刷：651千円                      郵送代：370千円                      がん検診委託料：4,830千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 大腸がん無料対象者	人	—	2,240	2,260
	② 子宮がん無料対象者	人	904	884	888
活動指標 (活動量)	① 大腸がん検診実施機関	機関	—	12	12
	② 子宮がん検診実施機関	機関	7	7	10
成果指標 (達成度等)	① 大腸がん検診受診率	%	—	10.18	16.37
	② 子宮がん検診受診率	%	23.34	6.97	24.21

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	がん対策基本法において、市町村はがん対策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に施策を実施する義務が課せられており、国民には、必要に応じてがん検診を受診する努力義務が課せられている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町内外の医療機関及び検査機関に委託事業として実施している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	がん検診の結果、毎回（毎年度）、要精密検査の受診を勧めるべき受診者が複数名確認できている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	検診費用は、診療点数等で概ね定められているため、削減はむずかしい。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	無料クーポン券印刷については、肝炎ウイルス検査の無料クーポン券と一緒に行うことにより、経費を削減した。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由
		受診率が伸びないことから、クーポン券、検診手帳などが受診行動に結びついているか検証が必要。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
平成26年度に国庫支出金がなくなった場合には、町事業として実施するか否かは決定していないが、受診率向上のための方策について検討していく必要がある。
② 平成26年度に着手する事項
受診率の向上に繋がることを期待して、県が推奨する「乳がん検診受診の再勧奨（コール・リコール）」方法を導入するとともに、対象者の集う機会を活用して、受診勧奨を積極的に行う。
③ その他（課題、調整事項等）

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成26年度は、乳がん検診は40歳、子宮がん検診は20歳の女性に、無料クーポン券を配布し、受診率の向上を目指す。大腸がん検診は引き続き、40歳から60歳の5歳刻みの男女を対象に、クーポン券等による受診勧奨を行い、受診率向上を目指す。クーポン発行後未受診者については、はがきや電話等による再勧奨を積極的に行う。
--